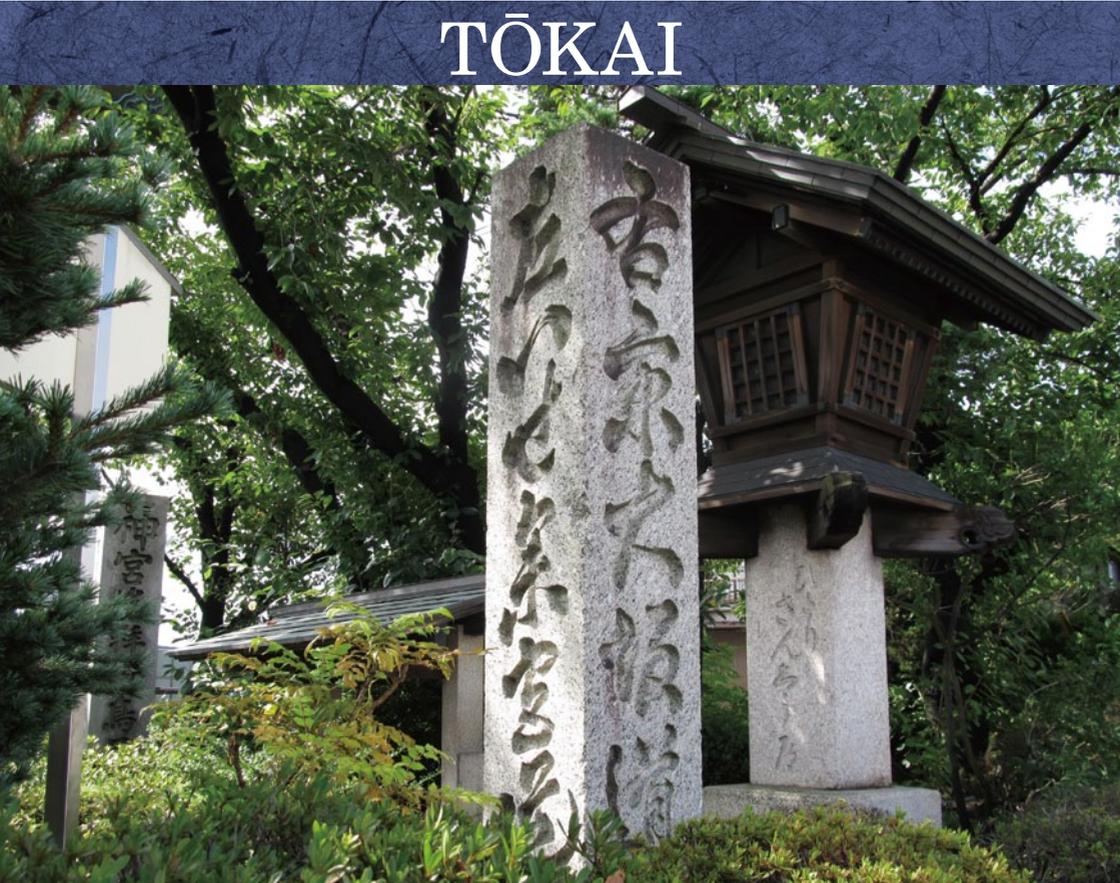


三重県

みえ  
歴史街道  
ウォーキング  
マップ

# 東海道

TŌKAI



# 東海道

## 東海道の概要

東海道は、古代より都と東国を結ぶ街道であり、同時に律令制度における国郡制度上の行政区間である五畿七道（東海・東山・北陸・山陰・山陽・南海・西海）の一つとして、鈴鹿関以東の沿岸地域を指す言葉でもあった。

鎌倉時代には、鎌倉と京都を結ぶ最も重要な幹線道路となり、このころには、街道沿いに専門の宿屋を主体とした宿と呼ばれる集落が現れていたと言われる。

そののち、天下を掌握した徳川家康により中山道・甲州道中・日光道中・奥州道中とともに五街道の一つとして一里塚や宿場、伝馬制度が整備された。これらは、江戸の品川宿を第一の宿とし、京都の大津宿まで五十三の宿場がもうけられたことから、俗に東海道五十三次と呼ばれる。

東海道の総延長は、江戸日本橋から京都三条大橋間の約一二五里（約500キロメートル）。昔の旅人は、朝の4時頃に宿を立ち、夕方6時頃まで歩いて、500キロメートルの道のりを12〜15日で歩いたという。

一日平均では約十里（39キロメートル）。現代人に比べてずいぶんと健脚だが、これは、宿賃が高いためゆつくり旅をしていたのでは、旅費がかさんでしまうからだという。

三重県内を通る東海道は約45キロメートル。尾張宮宿から海上七里を渡って、東海道42番目の宿・桑名宿にはいり、四日市宿、石薬師宿、庄野宿、亀山宿、関宿、坂下宿を経て天下の難所であった鈴鹿峠へと向かう。

また、東海道から分岐する道として、四日市の日永の追分から伊勢神宮へと向かう伊勢街道、関の東の追分から南下して津で伊勢街道と合流する伊勢別街道、西の追分から上野を越えて奈良へと向かう大和街道があり、これらの道は、参勤交代だけでなく、参宮の旅人などで賑わい、多くの物資や情報・文化が行き交う庶民の道、文化経済の道でもあった。

明治以後、国道工事などで様変わりした所も多いが、関宿など、街道の面影を残すところも多い。道ばたに何気なく残る道標や常夜燈に、かつての街道の姿を重ねてみてはいかがだろうか。





# (1) 桑名宿・A (桑名市船馬町～安永)



13 銅鳥居  
寛文7年(1667年)、金250両を出して作られたもの。「勢州桑名に過ぎたるものは銅の鳥居に二朱女」と謳われた。桑名の代表的産業である鑄物産業のシンボルの存在。県指定文化財。



18 かぶら絵館



23 桑名別院本統寺



19 石取会館



24 松尾芭蕉句碑



20 桑名市博物館



15 春日神社  
桑名の産土神。毎年8月に行われる石取祭は桑名最大の年中行事。



14 しるべ石  
銅鳥居の横にある。「志るべいし」「おしゆるかた」「たづめるかた」と刻まれている。行方不明の人を探すための伝言板で、現存しているものは珍しい。明治18年建立。



9 楽翁公百年祭記念宝物館  
国登録有形文化財。



10 九華公園  
桑名城跡。



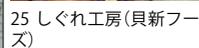
11 土生暁帝句碑



12 葛山たけし句碑



この部分は  
6～9ページを  
ご覧ください



25 しぐれ工房(貝新フズ)



26 京町見附跡



21 石造道標  
桑名市博物館隣にある。「左江戸道」「右京いせ道」と刻まれている。



27 京橋  
このあたりは桑名城の外堀にあたり、街道は升形に曲がっていた。京橋は明治初年にかけられたもの。



22 毘沙門堂  
慶長年間の町割の頃に福王山に移されたが、再び現在の地に戻された。



16 山口誓子句碑



17 南大手橋  
かつての桑名城への出入口。現在の橋は、元の位置よりやや南。



4 久保田万太郎句碑



5 蟠龍橋



6 北大手橋  
城下から桑名城への出入口。升形が残る。



1 七里の渡し跡  
尾張の宮の宿より海路七里の渡しがあった。伊勢湾台風後に作られた防波堤により、当時の面影は余り残っていない。天明年間(1791～89)に建てられた伊勢神宮一の鳥居や、安政3年(1856)と刻まれた常夜灯がある。県指定史跡。



2 山口誓子句碑



3 蔵前(西船馬)石取祭車庫

- 地図内凡例
- 道標など
  - 常夜灯
  - 神社・仏閣・城址など
  - 地蔵など
  - 句碑
  - その他文化資産等
  - まちかど博物館
  - 博物館・資料館
  - まちがえやすい分かれ道
  - バス停
  - トイレ

# (1) 桑名宿・B (桑名市船馬町～安永)



9 洵洲崎八幡社内の道標  
天保3年(1843)、「左ふなばみち」「右きょういせみち」と刻まれている。新町の北端にあったが戦後移築された。



10 光徳寺  
江戸時代には休泊を引き受けた。万古焼の創始者沼波弄山の墓がある。



12 寿量寺  
慶長13年(1608)、上洛の途中で亡くなった江戸城の障壁面を描いた絵師狩野光信の墓がある。



13 立坂神社(矢田八幡社)



7 法盛寺(ほうじょうじ)  
西本願寺別院。江戸時代には休泊を引き受けた。



8 提灯づくり館



4 吉津屋見附跡



5 教宗寺  
浄土真宗本願寺派。現本堂は愛知県八開村より移築した。



6 光明寺  
江戸時代街道に面して山門があった。七里の渡船が遭難した際に亡くなった旅人の供養碑が残る。



11 十念寺  
浄土真宗本願寺派。江戸時代には境内も広く、休泊を引き受けた。県指定文化財「金地着色祭礼図屏風」などがある。



1 石市  
江戸時代からの石屋。他にも石長などがあった。

この部分は  
4～5 ページを  
ご覧ください

美濃街道

約 200 m

約 350 m

約 550 m

桑名市役所

入江葭町と  
新町の境のあたりで微妙に曲がる

このあたりは、慶長年間の町割の際、城下の外郭を固めるために計画的に寺院が集められた

日進小学校

約 800 m

この部分は  
8～9 ページを  
ご覧ください

- 地図内凡例
- 道標など
  - 常夜灯
  - 神社・仏閣・城址など
  - 地蔵など
  - 句碑
  - その他文化資産等
  - まちかど博物館
  - 博物館・資料館
  - まちが分かれ道
  - バス停
  - トイレ



2 町の小さな博物館



3 廣房刃物店  
鍛冶町にはその名の通り、多くの鍛冶屋が住んでいた。「妖刀」として知られる「村正」も桑名で打ち出されたもの。

# (1) 桑名宿・C (桑名市船馬町～安永)

この部分は  
4～7ページを  
ご覧ください



14 濃州道の起点  
江戸時代は本願寺村枝郷水車であった。水車から西へ約600mを馬道という。



12 町なみ  
鋳物師が居住したため鋳屋町と称した。現在もつり鐘などを鋳造する鋳造所がある。店の前に釣りを鋳造している店もある。



15 東馬道  
ここまでが東馬道。この道は多度道とも美濃道とも称される。



13 矢田立場  
江戸時代、街道などでこまごまが駕籠などを留めて休憩した場所。火の見櫓等が復元されている。



8 教覚寺  
浄土真宗本願寺派。中世地頭職二階堂氏が開基という。



9 善西寺  
浄土真宗本願寺派。もとは走井山のふもとにあった。



11 連子格子の家  
このあたりは戦災を受けなかったため、古い建物が残る。馬をつないだ鉄環が残る所もある。



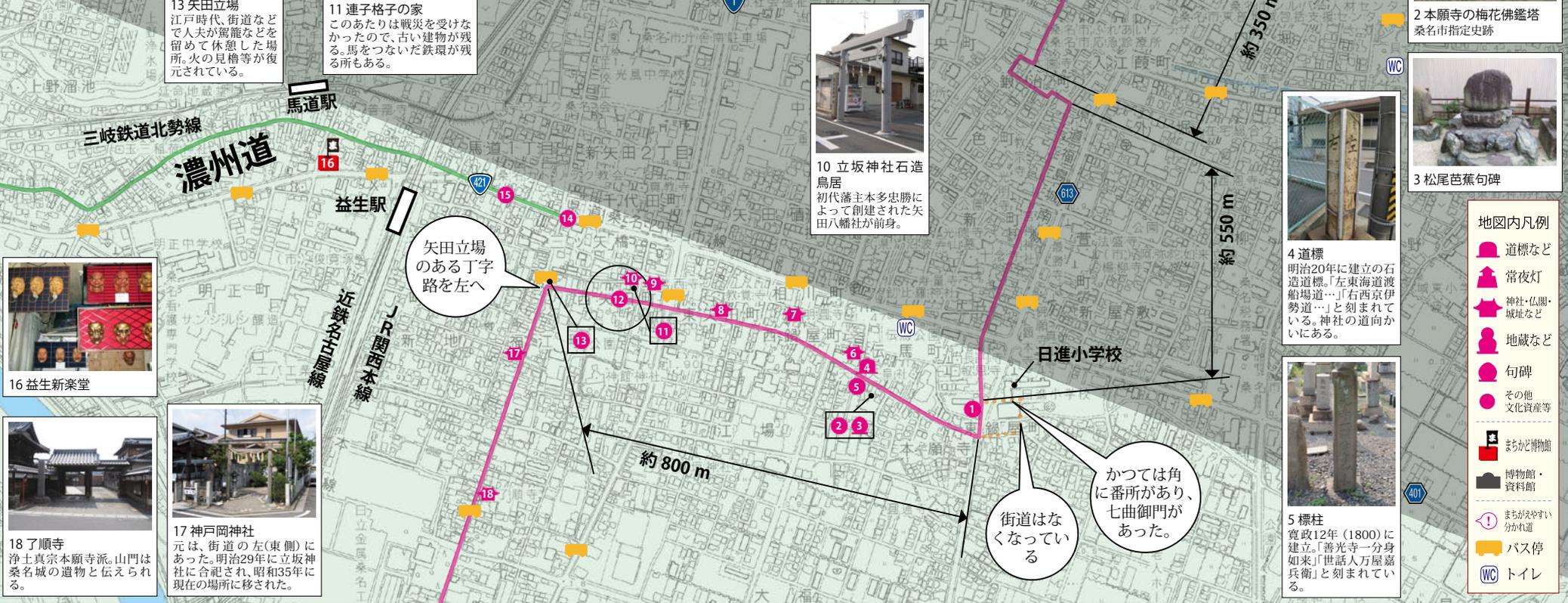
16 益生新薬堂



18 了順寺  
浄土真宗本願寺派。山門は桑名城の遺物と伝えられる。



17 神戸岡神社  
元は、街道の左(東側)にあった。明治29年に立坂神社に合祀され、昭和35年に現在の場所に移された。



6 一目連神社  
一目連は金属工業の神様で、桑名が鋳物の町であることにちなみ、約150年ほど前に勧請された。



7 明圓寺  
浄土真宗大谷派。門前に水準点がある。



10 立坂神社石造鳥居  
初代藩主本多忠勝によって創建された矢田八幡社が前身。



1 七曲見附跡



2 本願寺の梅花佛鑑塔  
桑名市指定史跡



3 松尾芭蕉句碑



4 道標  
明治20年に建立の石造道標。「左東海道渡船場道…」「右西京伊勢道…」と刻まれている。神社の道向かいにある。



5 標柱  
寛政12年(1800)に建立。「善光寺一分身如来」「世話人万屋嘉兵衛」と刻まれている。

- 地図内凡例
- 道標など
  - 常夜灯
  - 神社・仏閣・城址など
  - 地蔵など
  - 句碑
  - その他文化遺産等
  - まちかど博物館
  - 博物館・資料館
  - まちがえやすい分かれ道
  - バス停
  - トイレ

## (2) 縄生 (桑名市安永～朝日町小向)



14 縄生廃寺塔跡  
県指定史跡



10 金光寺  
本尊は十一面観音像(秘伝)・真言宗。



8 樹の大木  
町屋川のほとりにある。樹齢二百年以上。しめ縄がかけてある。



6 石造里程碑  
常夜燈のそば。明治26年建立。「従町屋川中央北桑名郡」「距三重県庁舎拾一里〇町余」と刻まれている。



3 窪石陶芸館



1 城南神社  
伊勢神宮と縁が深く、遷宮ごとに内宮の一の鳥居を下げられている。



2 久波奈江戸新撰館



15 安達微笑仏館



11 真光寺  
浄土真宗本願寺派。境内には桑名藩主松平定重が万治3年(1660)に寄進した大手水鉢がある。



9 町屋橋跡  
国道にかかる現在の町屋橋のわずかに上流のあたりに古い橋脚が2～3本残る。江戸時代の橋は、川の中州を利用して大小二つに分かれていた。



7 伊勢両宮常夜燈  
旧堤防にある。文政元年(1818)建立。桑名市指定文化財。



16 小向神社



12 山口誓子句碑



17 森有節の墓  
萬古焼中興の祖。



13 苗代神社



18 有節萬古窯跡  
県指定史跡



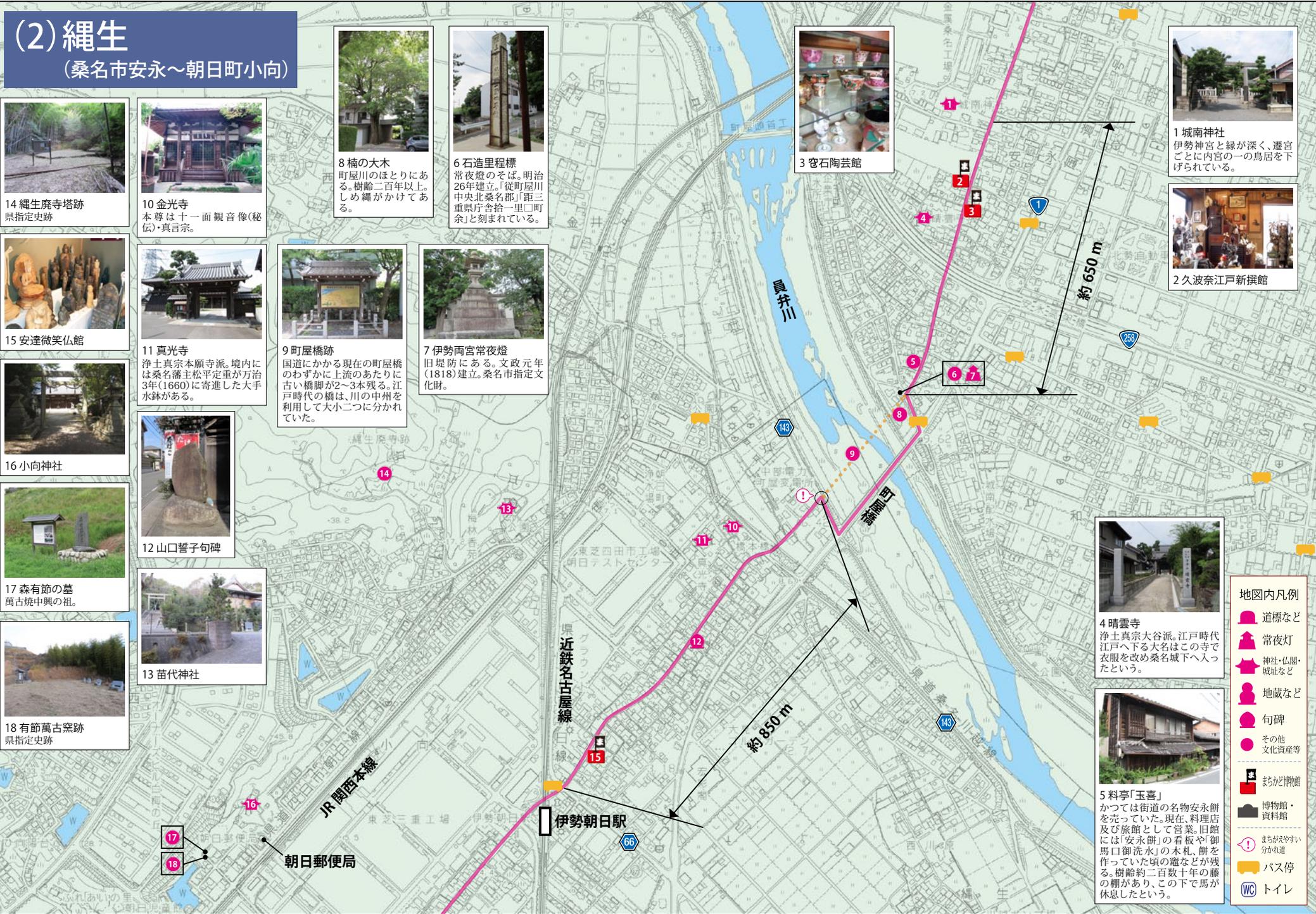
4 晴雲寺  
浄土真宗大谷派。江戸時代江戸へ下る大名はこの寺で衣服を改め桑名城下へ入ったという。



5 料亭「玉喜」  
かつては街道の名物安永餅を売っていた。現在、料理店及び旅館として営業。旧館には「安永餅」の看板や「御門口御洗水」の木札、餅を作っていた頃の竈などが残る。樹齢約二百数十年の藤の棚があり、この下で馬が休息したという。

### 地図内凡例

- 道標など
- 常夜灯
- 神社・仏閣・城址など
- 地蔵など
- 句碑
- その他文化資産等
- まちかど博物館
- 博物館・資料館
- まちがえやすい分かれ道
- バス停
- トイレ



# (3) 柿

(朝日町小向～四日市市松寺)



8 井後神社



5 若松園



9 常夜燈  
弘化3年(1846)に作られた。昭和6年、街道西側の道路沿いに移設された。「多賀神社常夜燈」「五穀成就」と刻まれている。



6 西光寺  
真宗大谷派。



10 御厨神明社



11 蓮證寺



7 柿城跡

このあたりは、かつては萱葺きの小さな家々が並び、「サザエのつぼのような」と言われた。

朝日町体育館

このあたりはだらだら坂と呼ばれる

朝日町役場

朝日駅をすぎてY字路を左へ

このあたりは朝明川まで続く並木道で春には桜が満開となる。朝明川は、壬申の乱の際、大海人皇子が伊勢神宮を遷すに勝利を願った迹太川だといわれている。

近鉄名古屋線

約800 m

約700 m

伊勢湾岸自動車道

朝明橋

朝明川

- 地図内凡例
- 道標など
  - 常夜灯
  - 神社・仏閣・城址など
  - 地蔵など
  - 句碑
  - その他文化資産等
  - まちかど博物館
  - 博物館・資料館
  - まちがえやすい分かれ道
  - バス停
  - トイレ



3 浄泉坊  
浄土真宗本願寺派。三葉葵の紋が鬼瓦にはめ込まれている。紋の由来は不明。大名が駕籠から降りて黙礼していったという言い伝えが残る。



1 朝日町資料館



2 橋守部誕生地の碑  
県指定史跡



4 朝日町歴史博物館

# (4) 間の宿 (四日市市蒔田～富田)

八風道

三岐鉄道三岐線

JR 関西本線

近鉄名古屋線

川越富洲原駅



2 朝明殿長明寺  
浄土真宗本願寺派。文治年間(1185～90)に蒔田相模守宗勝が築いた城のあった場所だといわれている。蒔田城跡。

1 龍王山宝性寺  
瓦の銘には文化11年とある。四日市市指定文化財。伊勢西国三十三所観音霊場第28番札所。



7 木下山三光寺  
蒔田相模守宗勝の墓碑がある。



4 狭い街道  
昔はこの狭い道を、大矢知からは年貢米を運搬する大八車が、富田一色からは魚の行商に行く商人車(あきんどくるま)が往来したという。蒔田から大矢知に至るまでは三重そうめんの産地である。幕末頃から、農閑期の副業として受け継がれてきた。



8 小田原提灯参考館



9 手づくり水石鉢



10 万葉史跡と聖武天皇社  
四日市市指定史跡



5 鏡ヶ池跡



11 富田一里塚  
石碑 県指定史跡



6 村田寺  
八風道の北側にある。

東富田は桑名宿と四日市宿の間の宿として多数の旅人が休憩したところ

十四川  
桜の名所。昭和15年に植えられた。



16 富田山長興寺  
境内に十六羅漢堂がある。富田六郷の多数の人たちの信仰を集めたと言う。伊勢西国三十三所観音霊場第27番札所。



12 一里塚橋  
昔は庚申橋と呼ばれていた。



17 明治天皇駐車跡碑



13 八幡神社址



18 成徳山善教寺  
真宗高田派。本尊は阿彌陀如来立像で秘仏とされている。国指定重要文化財。



14 富田菓庵 清華堂



19 常夜燈  
天保16年(1845)のもの。



15 鳥出神社  
鯨船行事が行われる。

- 地図内凡例
- 道標など
  - 常夜灯
  - 神社・仏閣・城址など
  - 地蔵など
  - 句碑
  - その他文化資産等
  - まちかど博物館
  - 博物館・資料館
  - まちがえやすい分かれ道
  - バス停
  - トイレ

# (5) 羽津

(四日市市南富田町～城山町)



**18 志氏神社**  
享保10年(1725)の鳥居や、文政元年(1818)・天保10年(1840)の常夜燈がある。この神社の狛犬には、神様が留守を守るように言いつけたにもかかわらず、遊びに出かけてしまったため、それぞれ左右の前足を折られてしまったという伝説が残る。四日市市指定史跡。



**19 夫婦石(雄石・雌石)**  
志氏神社の鳥居近くがあり、なでると良縁が成就するという。



**20 初野山光明寺**  
浄土真宗本願寺派。



**21 かも・かめ博物館**



**15 常夜燈**



**16 元気な松**



**17 ギャラリー藤総**



**22 羽津城跡**  
四日市市指定史跡



**12 茂福城跡の碑**  
四日市市指定史跡



**13 巖谷小波句碑**



**14 榎本其角句碑**



**9 林光山證圓寺**  
浄土真宗本願寺派。



**10 道標**



**11 茂福神社**



**8 力石**  
重さ32貫。元は寺の土台石だったという。



**7 光明山常照寺**  
浄土真宗本願寺派。



**6 美月窯**



**5 山口誓子句碑**



**1 連子格子の家**



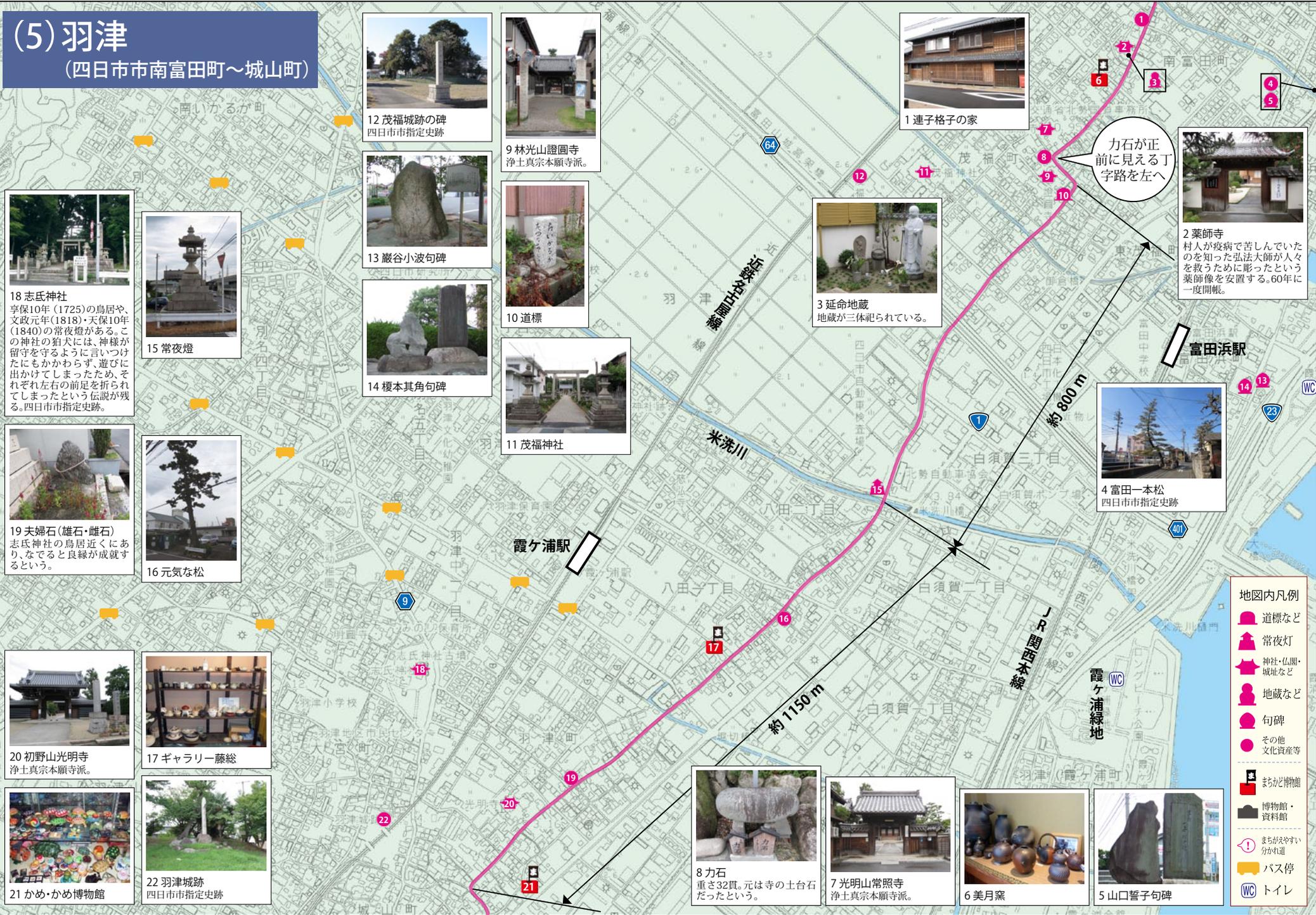
**3 延命地蔵**  
地蔵が三体祀られている。



**2 薬師寺**  
村人が疫病で苦しんでいたのを知った弘法大師が人々を救うために彫ったという薬師像を安置する。60年に一度開帳。



**4 富田一本松**  
四日市市指定史跡



- 地図内凡例
- 道標など
  - 常夜灯
  - 神社・仏閣・城址など
  - 地藏など
  - 句碑
  - その他文化資産等
  - まちかど博物館
  - 博物館・資料館
  - まちがえやすい分かれ道
  - バス停
  - トイレ

# (6) 川原町 (四日市市城山町～中部)



15 孤野道の起点  
東海道を三滝川より約200m南にある北町交差点。昔は、陣屋も建つ四日市の中心であった。



11 泗水の井戸  
四日市市指定史跡



10 笹井屋  
天文16年(1550)創業。街道名物なが餅の老舗。もとは日永にあったが、現在は三滝橋の南側にある。



16 延命地藏尊  
三体の石造の地藏尊が安置されている。千草道との分岐点の手前、約100m東。中央の一体は彫りが浅く、時代も古いと感じさせるが、左右の二体は新しいものと思われる。



12 建福寺



13 松尾芭蕉句碑



17 千草道との分岐点  
右に行けば三滝川を渡って、孤野町の千草へと向かう千草道へと続く。



14 陣屋跡

江戸時代は土橋がかかっていた



3 桜堤  
海蔵川左岸。



2 多度神社  
明治42年海蔵神社に合祀されたが大正9年に再建された。



1 ギャラリー光風庵・光風窯



8 紫光窯



7 祥雲山法泉寺



9 三滝川  
昔は、川遊びや夕涼みなど憩いの場だった。



6 田中七草句碑



4 加藤輪業コレクション



5 はんこの里会館

- 地図内凡例
- 道標など
  - 常夜灯
  - 神社・仏閣・城址など
  - 地藏など
  - 句碑
  - その他文化資産等
  - まちかど博物館
  - 博物館・資料館
  - まちがえやすい分かれ道
  - バス停
  - トイレ

# (7) 四日市宿 (四日市市中部～日永)



21 無動山大聖院  
松井親蔵法印が永禄8年(1565)千種氏の庇護のもと氏寺として再興された。中興第七世快齋法印は神戸藩内の寺社仏閣から選ばれて延享3年(1746)神戸城地鎮祭を厳修した名僧であった。城主は本多忠統侯である。本尊不動明王(秘仏)は、鎮守府将軍源頼義公、義家公父子の念持仏で、重要文化財に指定されている。



16 四日市市茶室「酒翠庵」



11 澄懷堂美術館



10 丹羽文雄生家(崇顕寺)



7 諏訪神社  
昭和20年に戦災で焼失し、26年に再建された。



12 モデルカー博物館



8 旧四日市市立図書館  
国登録有形文化財



17 お地藏さん  
連子格子の家の前の小さな祠に祀られている。



9 宝美術館



22 橋本鶏二句碑



19 誓元寺山門  
国登録有形文化財



23 道標  
寛政年間(1789～1801)建立。「水沢は藍より出て紅葉かな」「猿丸太夫名歌古跡水沢はより三里」と刻まれている。現在、大聖院入り口近くにある模型店裏庭にある。



20 大宮神明社  
元は、500m程西の岡山(現在の四日市市南高)にあって舟付明神と呼ばれた。日永最古の神社。



15 丹羽文雄句碑



14 内藤まさを句碑



24 萬松山円楽寺



24 萬松山円楽寺



13 鶴森神社浜田城跡  
四日市市指定史跡

街道はなくなっている



1 大入道さんminiミュージアム+Y



2 ちぎり絵ギャラリー和紙



3 道標(複製)  
本来は「江戸の辻」にあったものを、昭和28年頃に複製を当地に建立したものである。「すぐ江戸道」「すぐ京いせ道」「系どみち」と刻まれており、オリジナルは個人蔵。

- 地図内凡例
- 道標など
  - 常夜灯
  - 神社・仏閣・城址など
  - 地藏など
  - 句碑
  - その他文化資産等
  - まちかど博物館
  - 博物館・資料館
  - まちがえやすい分かれ道
  - バス停
  - トイレ



6 模型のソーイ



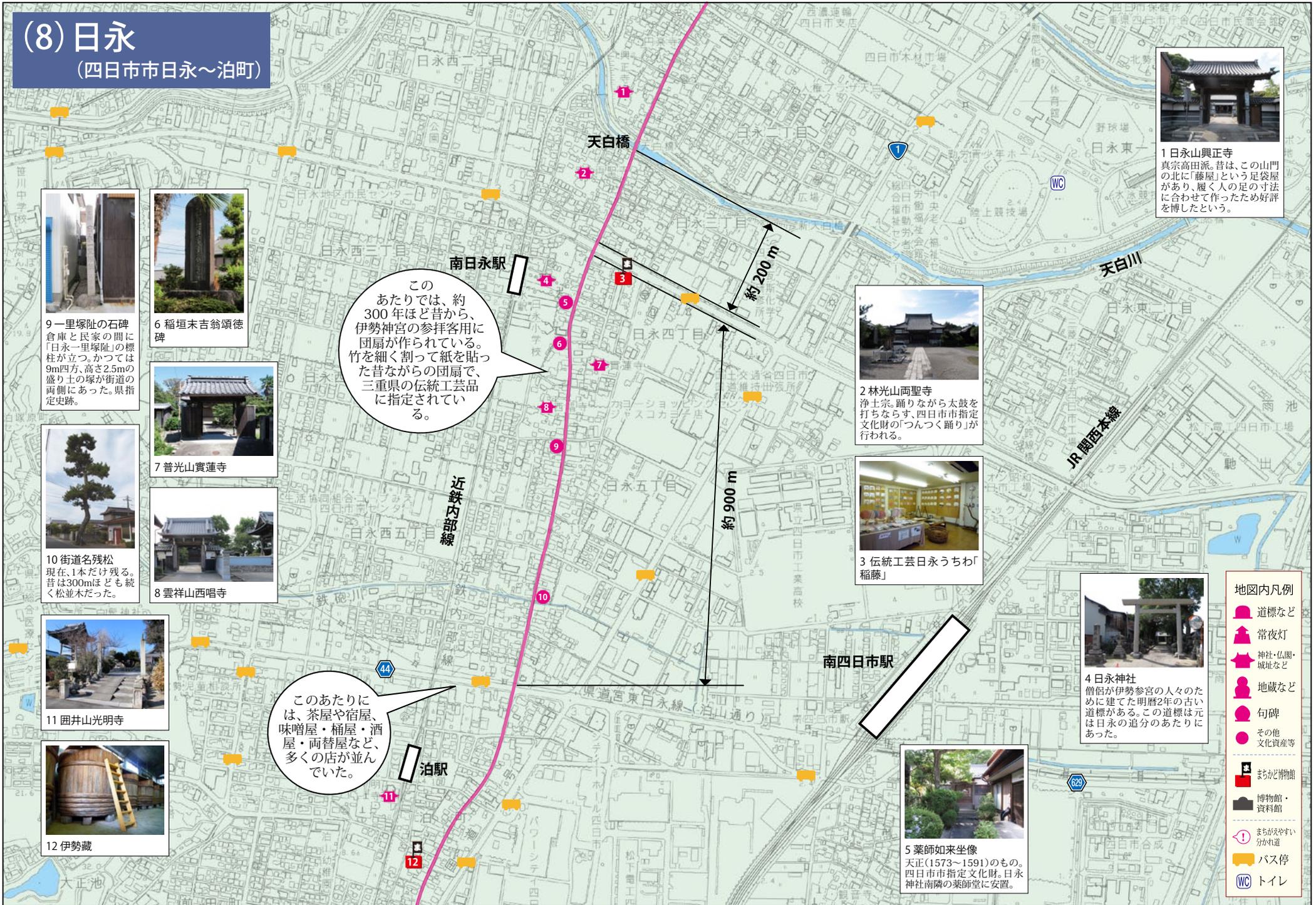
5 弥な屋



4 四日市市環境学習センター

# (8) 日永

(四日市市日永～泊町)



1 日永山興正寺  
真宗高田派。昔は、この山門の北に「藤屋」という足袋屋があり、履く人の足の寸法に合わせて作ったため好評を博したという。



9 一里塚跡の石碑  
倉庫と民家の間に「日永一里塚跡」の標柱が立つ。かつては9m四方、高さ2.5mの盛り土の塚が街道の両側にあった。県指定史跡。



6 稲垣末吉翁頌徳碑



7 普光山寅蓮寺



10 街道名残松  
現在、1本だけ残る。昔は300mほども続く松並木だった。



8 雲祥山西唱寺

このあたりでは、約300年ほど昔から、伊勢神宮の参拝客用に団扇が作られている。竹を細く割って紙を貼った昔ながらの団扇で、三重県の伝統工芸品に指定されている。



2 林光山兩聖寺  
浄土宗。踊りながら太鼓を打ちながら、四日市市指定文化財の「つんつく踊り」が行われる。



3 伝統工芸日永うちわ「稲蔭」



4 日永神社  
僧侶が伊勢参宮の人々のために建てた明暦2年の古い道標がある。この道標は元は日永の追分のあたりにあった。



11 圓井山光明寺

このあたりには、茶屋や宿屋、味噌屋・桶屋・酒屋・両替屋など、多くの店が並んでいた。



12 伊勢蔵



5 薬師如来坐像  
天正(1573～1591)のもの。四日市市指定文化財。日永神社南隣の薬師堂に安置。

- 地図内凡例
- 道標など
  - 常夜灯
  - 神社・仏閣・城址など
  - 地蔵など
  - 句碑
  - その他文化資産等
  - まちかど博物館
  - 博物館・資料館
  - まちがえやすい分かれ道
  - バス停
  - トイレ

# (9) 日永の追分

(四日市市追分～采女町)



3 神宮遙拝鳥居  
東海道を通るが、伊勢に参拝しない人のために安政3年(1774)に立てられた。以来、伊勢神宮式年遷宮ごとに神宮の古材を使って建て替えられる。昔は、伊勢へは鳥居をくぐって通行した。



2 道標  
嘉永2年(1849)の道標で鳥居の右にある。「左いせ参宮道」「右京大坂道」「すぐ江戸道」と刻まれている。



1 日永の追分  
東海道と伊勢街道の分岐点。県指定史跡。



6 小許曾(おごそ)神社



7 米田山願誓寺



5 慈現山観音禅寺



4 米田山大蓮寺  
真宗高田派。



8 いわひば処 壽苑

四日市追分郵便局

約400 m

約800 m

約550 m

近鉄内部線

伊勢街道

小古曾駅

内部駅

橋がかかった

ここで道が直角にまがっているのは、当時、このあたりに大きな寺院の境内があったからだと言われている。

- 地図内凡例
- 道標など
  - 常夜灯
  - 神社・仏閣・城址など
  - 地蔵など
  - 句碑
  - その他文化資産等
  - まちかど博物館
  - 博物館・資料館
  - まちがえやすい分かれ道
  - バス停
  - トイレ

# (10) 杖衝坂

(四日市市采女町～鈴鹿市大谷)



9 行者さん  
血塚社の近く。街道沿いの  
民家の玄関先にある。



7 松尾芭蕉句碑



6 弘法の井戸  
旅人や住民の飲み水として  
利用。東側の井戸は大日の  
井戸と呼ばれる。



5 常夜燈  
文化8年(1811)に設  
置されたもの。「永代  
常夜燈」と刻まれて  
いる。



4 石碑  
坂の中腹あたり。「史  
蹟 杖衝坂 三重  
県」と刻まれている。



2 金比羅宮



1 うつべ町かど博物館



3 杖衝坂  
東海道の中でも急坂で知ら  
れる。神代の昔日本武尊が  
東征の帰りにここにさしか  
かった際、大変疲れていた  
ので杖をついて歩いたと言  
われる事から、その名が付  
けられたと言う。



10 菅原神社  
国分の天神と親しまれて  
いる。境内に「従是西神戸  
領」と刻まれた私領標示石  
がある。



8 血塚社  
坂を上りきったあたりに  
ある。



11 采女一里塚跡  
石標



12 豊富稲荷神社  
寛治2年(1088)創建。側に  
参勤交代で通行する大名を  
旅人がここで迎えたという  
「土下座場」があった。



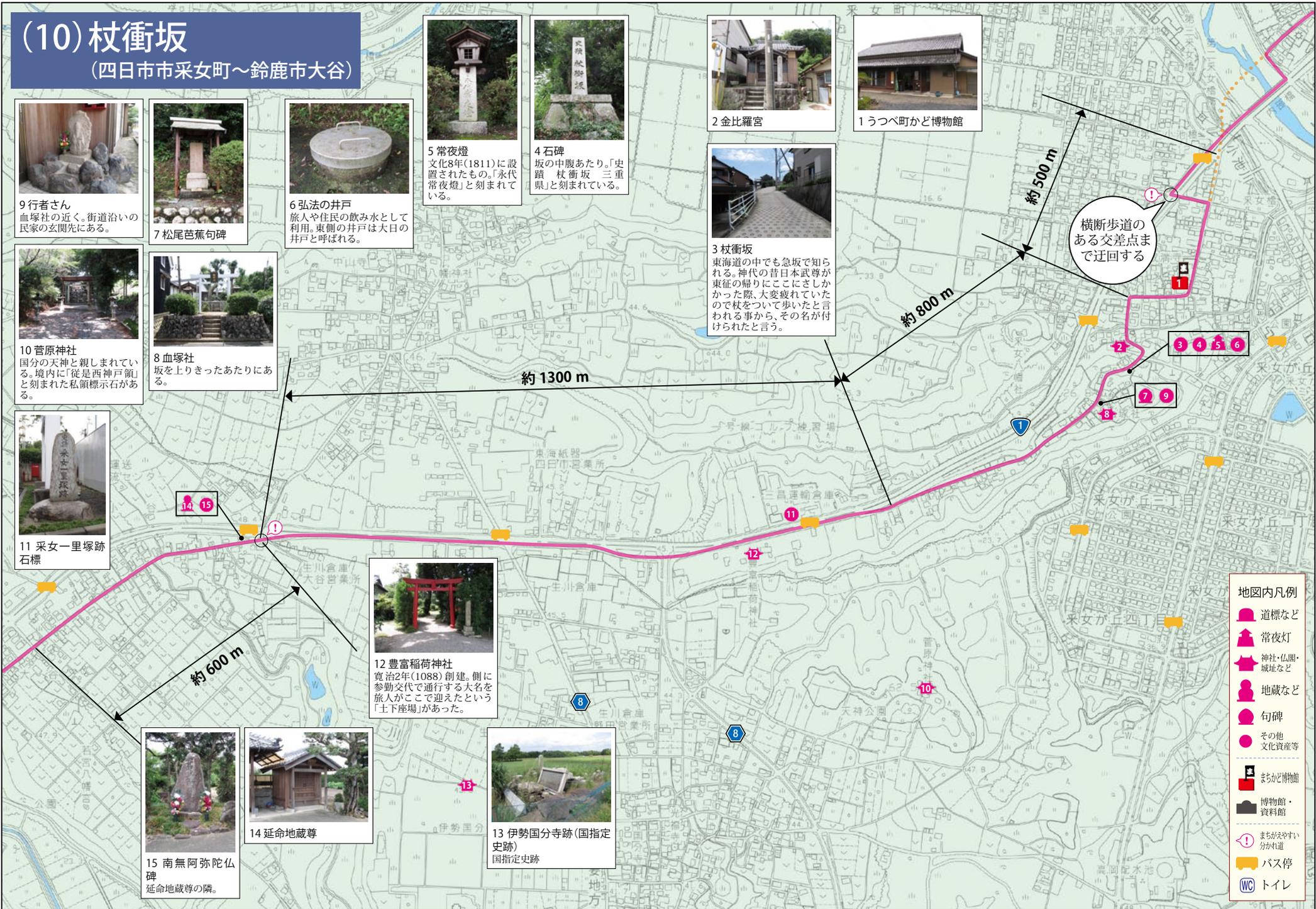
15 南無阿弥陀仏  
延命地藏尊の隣。



14 延命地藏尊



13 伊勢国分寺跡(国指定  
史跡)  
国指定史跡



- 地図内凡例
- 道標など
  - 常夜燈
  - 神社・仏閣・城址など
  - 句碑
  - その他文化資産等
  - まちかど博物館
  - 博物館・資料館
  - まちがえやすい分かれ道
  - バス停
  - トイレ

# (11) 石薬師宿

(鈴鹿市大谷～上野町)



14 松尾芭蕉句碑



15 森白象句碑



16 森白象句碑



17 御曹子社



18 家なみ



19 石薬師の蒲櫻  
県指定天然記念物



9 偃び舎 奈可多



10 浄福寺  
真宗高田派。佐佐木信綱の家の菩提寺。



11 道標  
大正期建立。傾いている。



12 南町古墳



13 石薬師寺



3 北町古墳



4 法雲禅寺  
菅生由草の墓がある。



5 ギャラリー 空木



6 式内社大木神社  
参道のあたりは当時の面影を残している。椎の木は鈴鹿市指定天然記念物。



7 小澤(本陣)資料館



8 佐佐木信綱記念館



1 フリーギャラリー



2 地藏堂  
元は街道の左にあった。



- 地図内凡例
- 道標など
  - 常夜灯
  - 神社・仏閣・城址など
  - 地藏など
  - 句碑
  - その他文化資産等
  - まちかど博物館
  - 博物館・資料館
  - まちがえやすい分かれ道
  - バス停
  - トイレ

# (12) 庄野宿

(鈴鹿市上田町～庄野町)



5 庄野宿資料館



3 家なみ



2 浄安寺  
木造釈迦如来坐像は、鈴鹿市指定文化財。



6 妙法禅寺  
臨済宗東福寺派。



4 善照寺  
真宗高田派。



7 常楽寺  
真宗佛光寺派。



8 川俣神社  
境内のスダジイの木は県指定天然記念物。



9 庄野本陣跡碑

庄野町北交差点。これといった目印がないので、右手に工場が見えたら注意。

最初の信号で左へ

街道はどこどころなくなっている

当時の街道は真っ直ぐ延びて土橋がかかっていた

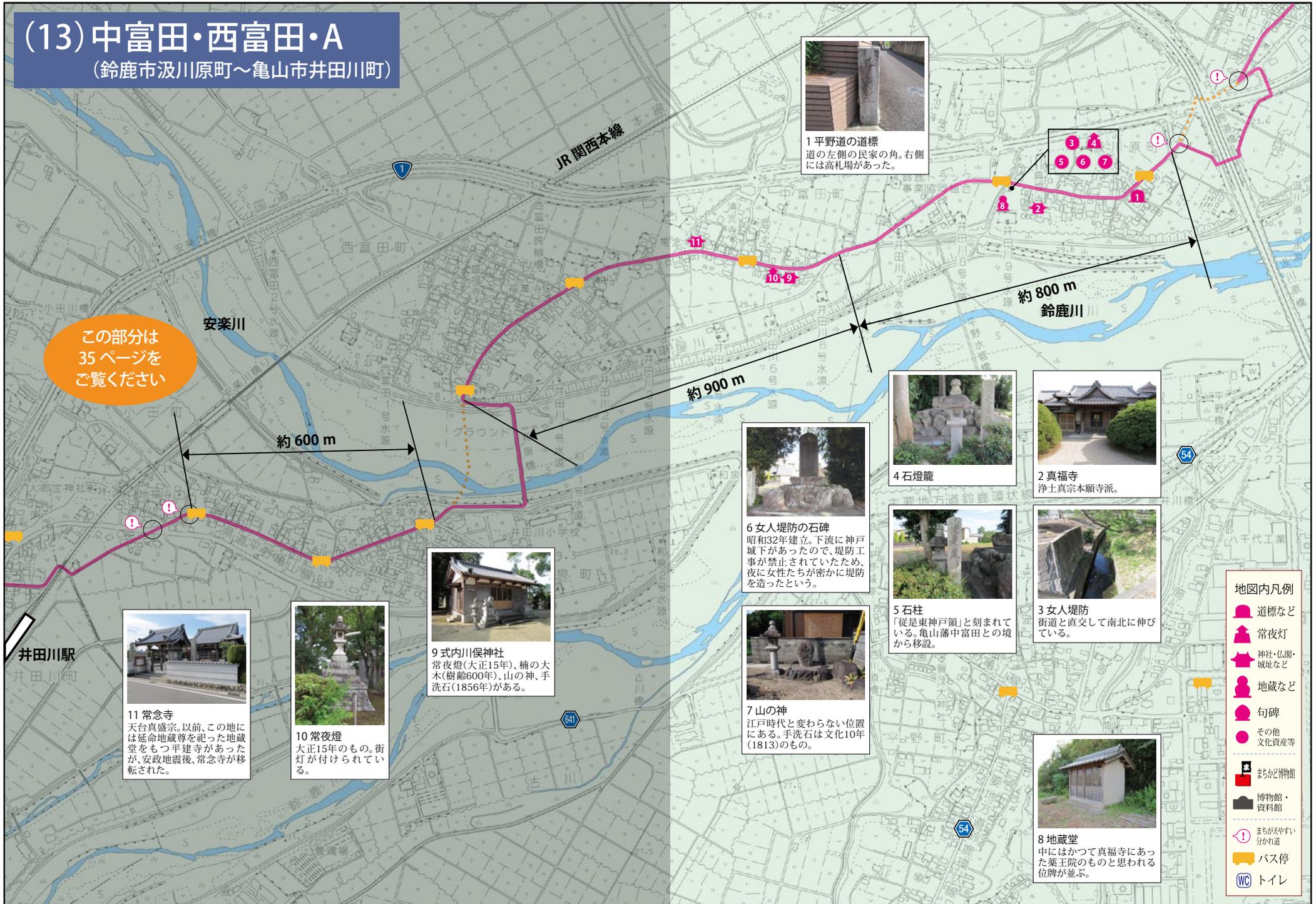


1 石薬師の一里塚  
昔は榎が植えられていたが、昭和34年伊勢湾台風で倒れ、当時の面影はない。現在は「史跡石薬師の一里塚址」の標柱が建てられている。県指定史跡。



- 地図内凡例
- 道標など
  - 常夜灯
  - 神社・仏閣・城址など
  - 地藏など
  - 句碑
  - その他文化資産等
  - まちかど博物館
  - 博物館・資料館
  - まちがえやすい分かれ道
  - バス停
  - トイレ

# (13) 中富田・西富田・A (鈴鹿市汲川原町～亀山市井田川町)



この部分は  
35 ページを  
ご覧ください



約 900 m

約 800 m  
鈴鹿川

約 600 m



- 地図内凡例
- 道標など
  - 常夜灯
  - 神社・仏閣・城址など
  - 地藏など
  - 句碑
  - その他文化遺産等
  - まちかど博物館
  - 博物館・資料館
  - まちがえやすい分かれ道
  - バス停
  - トイレ

# (13) 中富田・西富田・B

(鈴鹿市汲川原町～亀山市井田川町)



3川俣神社  
庚申塔、山神、献燈(1803年)がある。



2福満寺  
真宗高田派。



1道標  
「ひろせ道」と刻まれている。



4道標  
川俣神社境内にあり、「右ひろせ左はだけ」と刻まれている。他にも、神戸城主織田信孝ゆかりの井戸跡の標柱等がある。

安楽川

約600m

土橋を渡り、出水時には渡しとなった

和泉橋

約900m

約800m  
鈴鹿川

この部分は  
32ページを  
ご覧ください



井田川駅  
井田川町



8自然石の道標  
江戸時代の位置そのまま。石柱の横。



6川俣神社



10極楽山地福寺  
境内には毘沙門堂がある。



9地藏堂  
江戸時代の位置そのまま。



7石柱  
大正3年、「右のぼり道」。



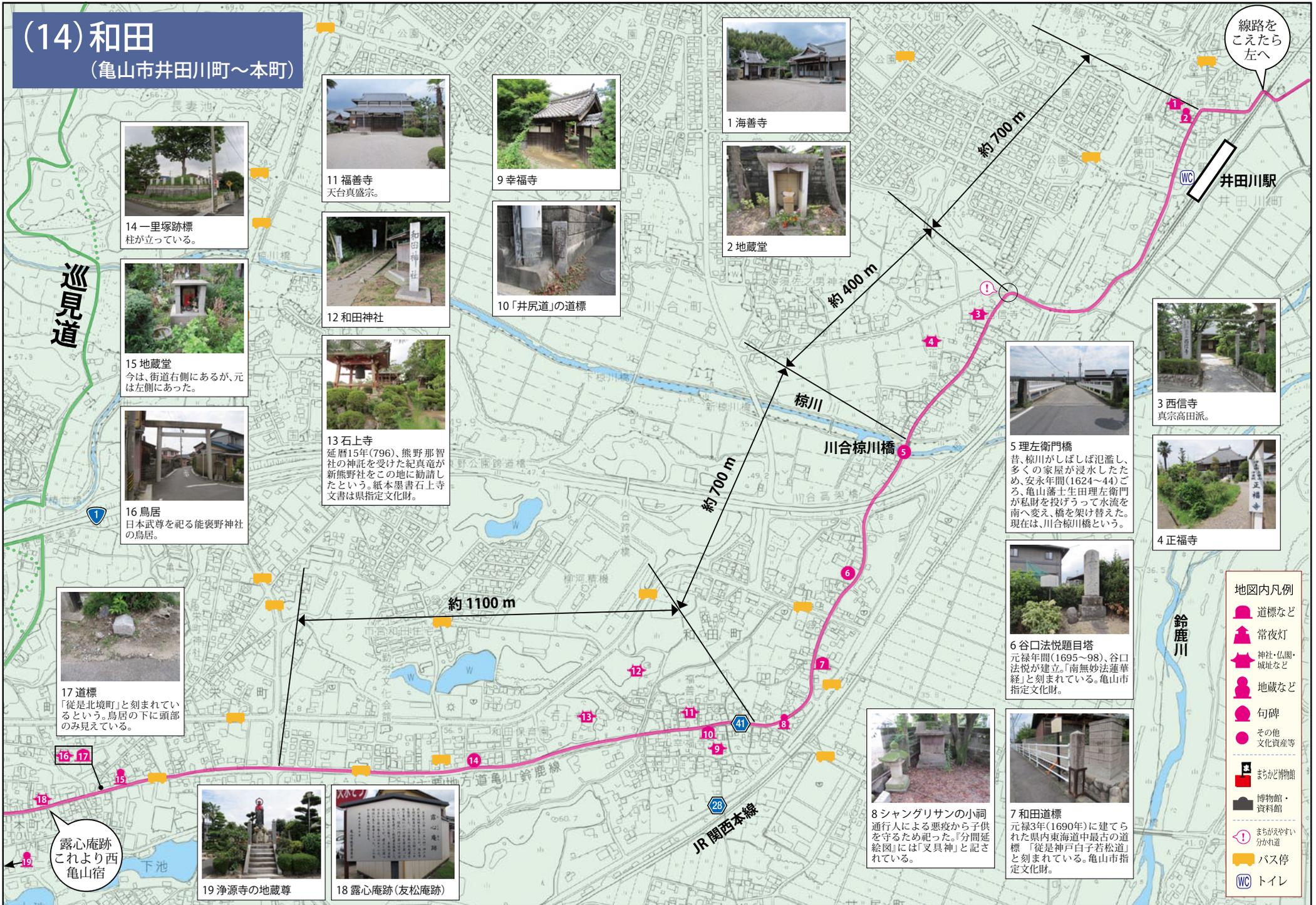
5常夜燈  
慶応2年(1866)のもの。川俣神社入口にあるが、元は大筒川辺に立っていたという。

## 地図内凡例

- 道標など
- 常夜灯
- 神社・仏閣・城址など
- 地蔵など
- 句碑
- その他文化資産等
- まちかど博物館
- 博物館・資料館
- まちがえやすい分かれ道
- バス停
- トイレ

# (14) 和田

(亀山市井田川町～本町)



14 一里塚跡標  
柱が立っている。



15 地藏堂  
今は、街道右側にあるが、元は左側にあった。



16 鳥居  
日本武尊を祀る能褒野神社の鳥居。



17 道標  
「従は北境町」と刻まれているという。鳥居の下に頭部のみ見えている。



18 露心庵跡  
これより西 亀山宿



19 浄源寺の地藏尊



11 福善寺  
天台真盛宗。



12 和田神社



13 石上寺  
延暦15年(796)、熊野那智社の神託を受けた紀真道が新熊野社をこの地に勧請したという。紙本墨書石上寺文書は県指定文化財。



9 幸福寺



10 「井尻道」の道標



1 海善寺



2 地藏堂



8 シャングリサンの小祠  
通行人による悪疫から子供を守るため祀った。「分間延絵図」には「叉具神」と記されている。



6 谷口法悦題目塔  
元禄年間(1695～98)、谷口法悦が建立。「南無妙法蓮華経」と刻まれている。亀山市指定文化財。



7 和田道標  
元禄3年(1690年)に建てられた県内東海道中最古の道標「従は神戸白子若松道」と刻まれている。亀山市指定文化財。



3 西信寺  
真宗高田派。



4 正福寺

- 地図内凡例
- 道標など
  - 常夜灯
  - 神社・仏閣・城址など
  - 地藏など
  - 句碑
  - その他文化資産等
  - まちかど博物館
  - 博物館・資料館
  - まちがえやすい分かれ道
  - バス停
  - トイレ

線路をこえたら左へ

# (15) 亀山宿・A (亀山市本町～野村)

巡見道



21 加藤家長屋門及び土蔵  
亀山藩家老の屋敷。門・長屋・土蔵が残り、武家屋敷の様子を今に伝える。亀山市指定文化財。



14 池の側松並木  
亀山市指定天然記念物



13 石井兄弟敵討碑  
元禄14年(1704)に石井源蔵、半蔵兄弟が父の敵、赤堀水之助を討ち取った所。



5 ギャラリー&TEA S E N



3 福泉寺山門  
亀山市指定文化財



1 えんた館



15 鈴鹿野風呂石碑



6 亀山城大手門跡



4 法因寺  
左巻カヤは亀山市指定天然記念物。



2 江戸口門跡

この部分は  
41 ページを  
ご覧ください

約 1100 m

約 400 m

約 900 m



22 ギャラリー 茶気茶気



19 道標  
道を挟んで2基あり、「左東海道 右郡役所」、「左停車場 右東海道」と刻まれている。



17 明治天皇行在所  
亀山市指定文化財



16 亀山城多門櫓  
天正18年(1590)、岡本宗憲が築いた城。三層の天守閣があったが、寛永9年(1632)に手違いで解体され、以後再建されなかった。現存する多門櫓は県下唯一の城郭建造物として県指定文化財である。池の方からの眺めはすばらしい。



11 連子格子・幕板・板庇の家



12 趣味の展示館 cafe あんず



10 誓昌院  
真宗高田派。



9 遍照寺  
天台真盛宗。本堂は、旧亀山城二之丸御殿を移築したもの。本尊の木造阿彌陀如来立像は、県下の鎌倉彫刻の代表作。県指定文化財。



23 亀山市歴史博物館



20 旧館家住宅(枡屋)  
亀山市指定文化財



18 大久保神官家棟門  
亀山市指定文化財

青木門址

西問屋場跡

道は狭い

道は狭く  
車が多い

- 地図内凡例
- 道標など
  - 常夜灯
  - 神社・仏閣・城址など
  - 地蔵など
  - 句碑
  - その他文化資産等
  - まちが博物館
  - 博物館・資料館
  - まちが分かれ道
  - バス停
  - トイレ

# (15) 亀山宿・B

(亀山市本町～野村)

巡見道



12 羽柴秀吉本陣跡



11 能牟良神社常夜燈  
亀山市指定文化財



9 心光寺



7 森家住宅主屋  
国登録有形文化財



10 光明寺  
浄土真宗西本願寺派



8 アンティーク森



3 梅庵寺  
浄土宗。もみじの美しい寺。  
亀山藩主石川家の菩提寺。



2 京口門跡



1 きんぎょの館

この部分は  
38～39ページを  
ご覧ください



17 野村一里塚  
慶長9年(1604)に家康の命により建造された。県内に12か所あった一里塚の中で唯一現存する。塚の木は国指定史跡。南側の塚は大正3年に取り壊された。



15 竹細工の館



18 宗英寺  
イチヨウは県指定天然記念物。



16 碑  
「天照皇大神御鎮座跡 忍山神社参道」



14 連子格子の家なみ



13 慈恩寺  
浄土宗。本尊の阿弥陀如来立像は、等身大の檜の一木造り。平安前期の作で国指定重要文化財。



6 連子格子の家なみ



5 赤堀水之助墓  
亀山市指定史跡



4 照光寺

- 地図内凡例
- 道標など
  - 常夜灯
  - 神社・仏閣・城址など
  - 地蔵など
  - 句碑
  - その他文化資産等
  - まちかど博物館
  - 博物館・資料館
  - まちがえやすい分かれ道
  - バス停
  - トイレ

# (16) 布気

(亀山市野村～太岡寺町)



10 かもやま美術館  
(平成26年2月1日より休館)



11 太岡寺隈

このあたりは、太岡寺隈といわれる長い松並木があり、里謡に「わしが思いは太岡寺 ほかにき(気・木)はない まつ(松・待つ)ばかり」と謡われた。旧街道と国道25号線が交差する高架下には、広重の浮世絵「東海道五十三次」から県内の宿場町にちなんだ7枚の拡大版画が設置されている。

JR 関西本線を越える陸橋を渡る



2 善性寺



1 忍山神社



4 古民家ギャラリー



3 布気皇館太神社  
神戸七郷の総社。向かい側には東海道随一と称された立場茶屋能古があった。



9 常夜燈  
東側の常夜燈と同じく「やけ八幡」のもの。国道1号を横断する歩道橋のたもとにあり、安政6年(1859)と刻まれている。



8 清福寺



7 常夜燈  
元は、落針の目原にあった「やけ八幡」のもの。



6 道標  
大正4年建立。「大正記念道」と刻まれている。



5 屋寝観音  
観音庵にある。

- 地図内凡例
- 道標など
  - 常夜灯
  - 神社・仏閣・城址など
  - 地蔵など
  - 句碑
  - その他文化資産等
  - まちかど博物館
  - 博物館・資料館
  - まちがやしい分かれ道
  - バス停
  - トイレ

# (17) 関宿・A (亀山市小野町～関町城山)

この部分は  
46～49ページを  
ご覧ください



11 弘善寺入口道標  
「不動尊弘善寺」と刻まれている



10 江戸屋  
馬つなぎの鉄環も残る。



7 古しえの宿「長谷屋」



5 伊勢神宮一の鳥居  
旅人がここからはるか伊勢神宮を拝むためのもの。伊勢神宮式年遷宮の際に宇治橋南詰めの鳥居を移し替える。



3 関の小萬のもたれ松碑のそば。



1 常夜燈



12 御馳走場跡  
宿役人が大名行列を出迎えた場所。享保19年(1734)に造られた。



8 油久 岩田油店



6 常夜燈  
「常夜燈大坂津国屋重右衛門 江戸嶋屋佐右衛門 元文5庚申年(1692)正月手坂組中」と刻まれている。



4 東の追分  
東海道と伊勢別街道の分岐点。県指定史跡。伊勢神宮一の鳥居や道標・常夜燈・手水鉢・一里塚跡の碑などがある。



2 関の小萬の碑  
関地蔵前の旅籠山田屋の養女として育ち、長じて父の仇討ちを志し、亀山の道場へ剣の修行に通い、ついに敵とめぐりあって志を遂げたという小萬の碑。



9 宝林寺

北側の  
歩道橋を  
渡る

小野川橋

- 地図内凡例
- 道標など
  - 常夜灯
  - 神社・仏閣・城址など
  - 地蔵など
  - 句碑
  - その他文化資産等
  - まちかど博物館
  - 博物館・資料館
  - まちがえやすい分かれ道
  - バス停
  - トイレ



14 関神社参道  
旧関町木崎と中町の境にあたる。関神社はもと熊野権現といい、伊勢平氏の流れをくむ地侍の関氏が勧請したものであるという。



13 開雲楼と松鶴楼

約 800 m

道の駅関宿

約 1000 m

関駅

約 450 m

JR 関西本線

伊勢別街道

鈴鹿川

# (17) 関宿・B (亀山市小野町～関町城山)



20 志ら玉を売っている店  
昔、三宅菓子匠が作った「白玉」を前田屋製菓が工夫を重ね「志ら玉」という餅菓子として復活させた。



18 関の小萬の墓  
亀山市指定史跡



15 クラシックお茶ギャラリー「かねぎ」



14 郵便局  
土蔵づくり風のコンクリート製の建物。この敷地は、天正20年(1592)家康が休息したので、御茶屋御殿屋敷と呼ばれ、初期幕府代官の陣屋、亀山藩役人の詰所、関警察署、関町役場を経て現在にいたる。郵便局隣には道路元標がある。



12 関宿旅籠玉屋歴史資料館



6 関まちなみ資料館



21 片岡かじや



19 萩野脇本陣の門



16 クラシックギャラリー「菓子処いちみ」



13 深川屋  
寛永年間から「関の戸餅」を売っていた。2階に掲げられた看板は、表と裏で書体が違う。



7 山車倉



17 福蔵寺  
天台真盛宗。織田信長の三男信孝の菩提寺として天正11年(1583)に建立された。境内には関の小萬の墓や萩野脇本陣の門がある。



8 百六里庭・眺関亭



1 伊藤酒店



9 伊藤本陣跡  
他にも川北本陣跡・鶴屋本陣跡などが残り、看板や標柱などで案内されている。

この部分は  
49 ページを  
ご覧ください

この部分は  
44 ページを  
ご覧ください



2 延命寺  
山門は、旧川北本陣の玄関門を移築したもの。亀山市指定文化財。



3 瑞光寺  
権現柿の墓碑は、亀山市指定史跡。



5 ギャラリー「アンティーク」(道の駅「関宿」)



4 権現柿  
亀山市指定史跡



22 ギャラリー小平屋



10 橋爪家



11 旅人宿 石垣屋

- 地図内凡例
- 道標など
  - 常夜灯
  - 神社・仏閣・城址など
  - 地蔵など
  - 句碑
  - その他文化資産等
  - まちかど博物館
  - 博物館・資料館
  - まちがえやすい分かれ道
  - バス停
  - トイレ

約 800 m

約 1000 m

約 450 m

道の駅関宿

関駅

JR 関西本線

伊勢別街道

鈴鹿川

# (17) 関宿・C (亀山市小野町～関町城山)



11 西の追分  
東海道と大和街道との分岐点。県指定史跡。



10 法悦題目塔道標  
元禄4年(1691年)、谷口長右衛門の建立。「南無妙法蓮華経」と刻まれている。



9 道標  
大正15年に立てられたもので「観音山公園道」と刻まれている。



7 長徳寺



4 知行付の鐘  
寛文11年(1671)年建立。地藏院内。国指定重要文化財。



1 道標  
大正3年、田中音吉氏による建立。「停車場道」と刻まれている。

観音院から西の追分までは約150m。この間には民家や見附土居や御馳走場松並木があった。



12 観音山  
亀山市指定名勝



5 愛染堂  
地藏院境内。鎌倉の遺風を残す建造物で国指定重要文化財。



2 常夜燈  
享保16年(1731年)のもの。「せきのちそう」と刻まれている。



8 観音院  
関の守り仏であった。裏手の観音山は名勝として訪れる人も多い。



6 誓正寺  
真宗高田派。



3 地藏院  
本尊は地藏菩薩像。「関の地藏に振り袖着せて、奈良の大仏婿にとる」と俗謡にも謡われた。本堂は国指定重要文化財。

この部分は44～47ページをご覧ください

- 地図内凡例
- 道標など
  - 常夜灯
  - 神社・仏閣・城址など
  - 地藏など
  - 句碑
  - その他文化資産等
  - まちかど博物館
  - 博物館・資料館
  - まちがえやすい分かれ道
  - バス停
  - トイレ



14 石地藏2体



13 橋越地藏堂  
中には石の地藏が2体祀られている。

約800m

約1000m

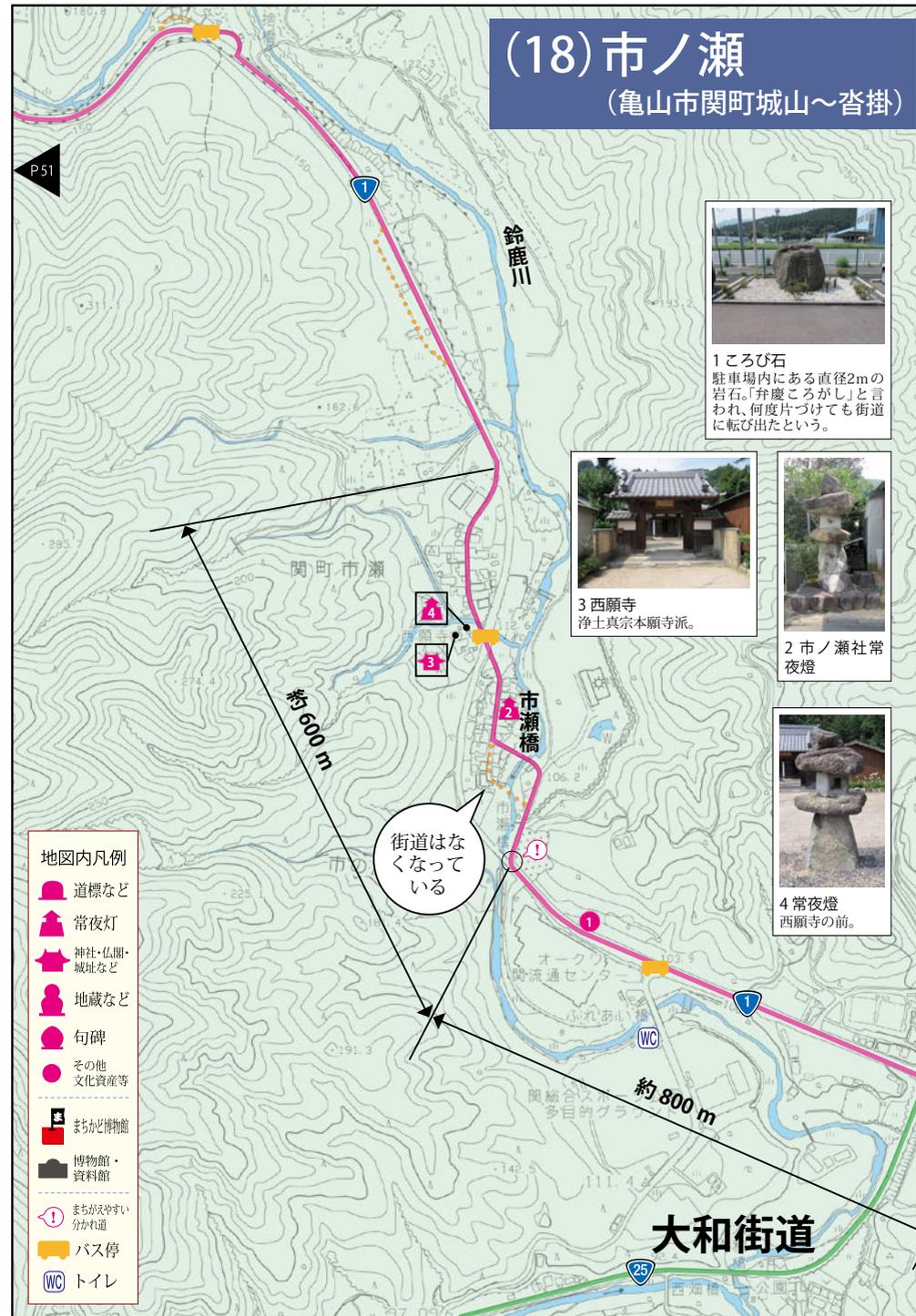
約450m

道の駅関宿

関駅

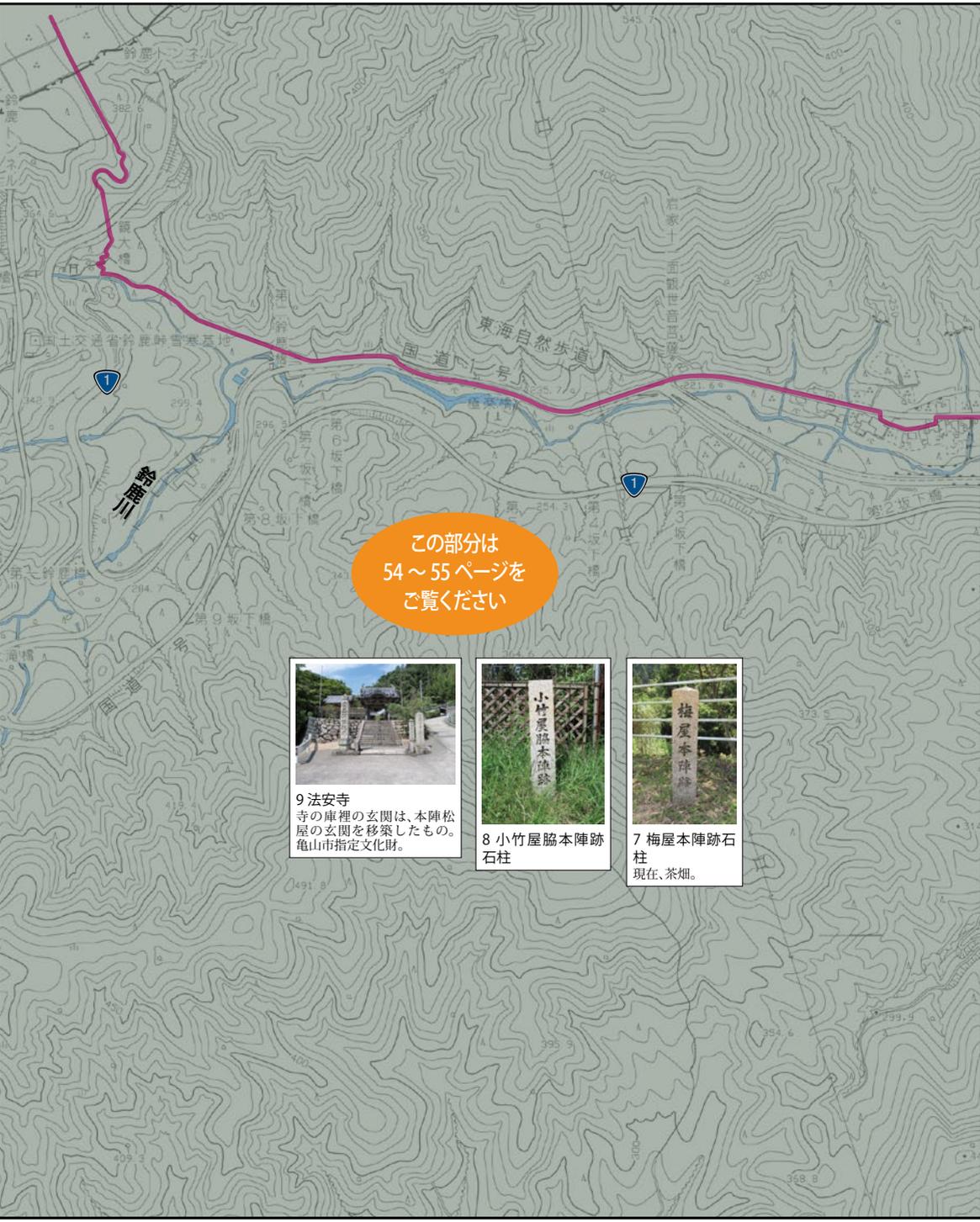
伊勢別街道  
JR 関西本線

鈴鹿川



# (19) 鈴鹿峠・A

## (亀山市関町沓掛～坂下)



**9 法安寺**  
寺の庫裡の玄関は、本陣松屋の玄関を移築したもの。亀山市指定文化財。



**8 小竹屋脇本陣跡石柱**



**7 梅屋本陣跡石柱**  
現在、茶畑。



**6 大竹屋本陣跡石柱**  
現在、茶畑。



**5 松屋本陣跡石柱**  
本陣(問屋兼帯)。現在、公民館の車庫。



**1 沓掛本郷の集落**  
街道の雰囲気を残している。



**3 鈴鹿馬子倶楽部**



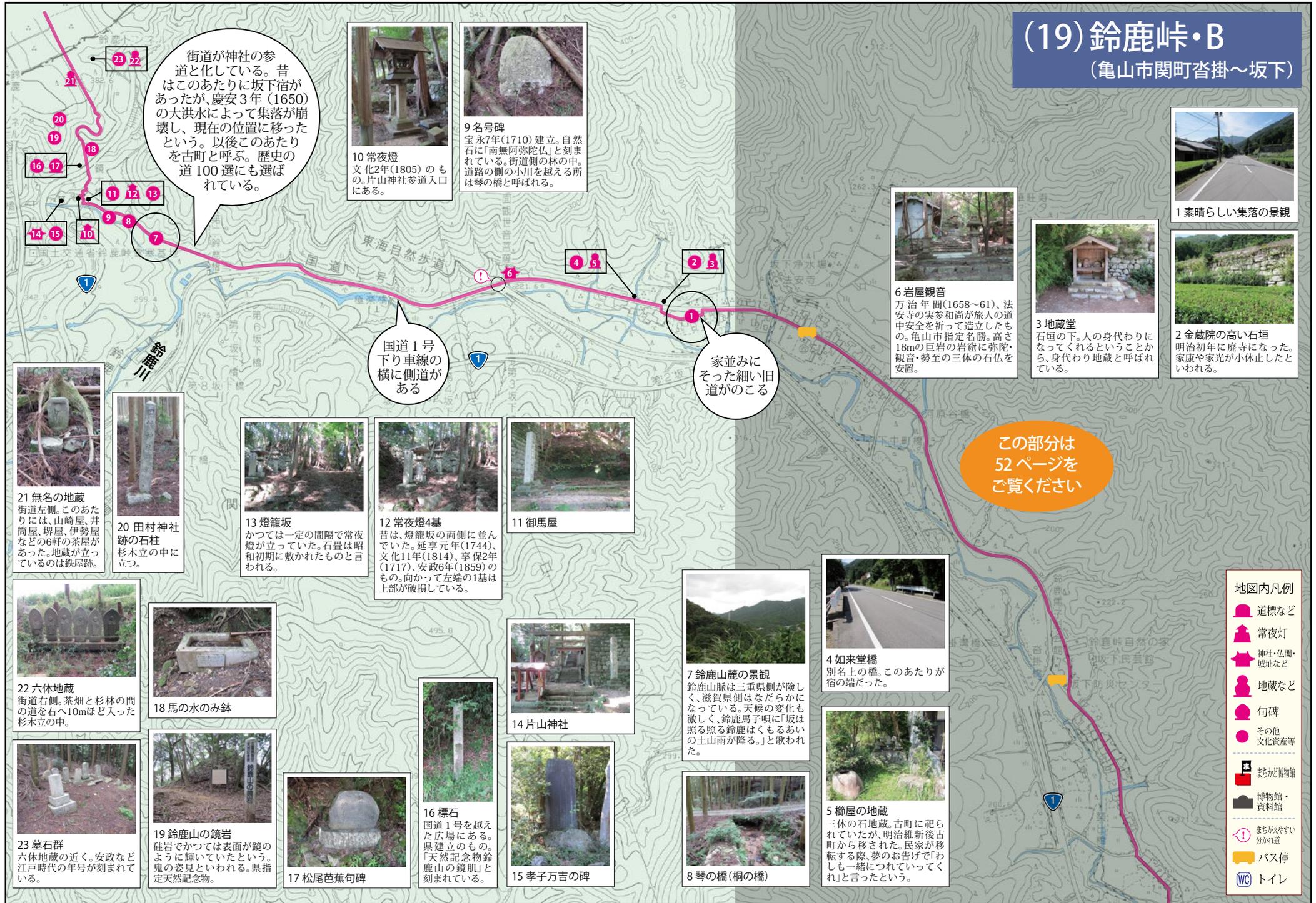
**2 鈴鹿峠自然の家**  
旧坂下小学校。国指定登録有形文化財。



**4 河原谷橋**  
沓掛と伊勢国最後の宿・坂下の境界。下の橋ともいう。

- 地図内凡例
- 道標など
  - 常夜灯
  - 神社・仏閣・城址など
  - 地蔵など
  - 句碑
  - その他文化資産等
  - まちかど博物館
  - 博物館・資料館
  - まちがえやすい分かれ道
  - バス停
  - トイレ

# (19) 鈴鹿峠・B (亀山市関町沓掛～坂下)



街道が神社の参道と化している。昔はこのあたりに坂下宿があったが、慶安3年(1650)の大洪水によって集落が崩壊し、現在の位置に移ったという。以後このあたりを古町と呼ぶ。歴史の道100選にも選ばれている。



10 常夜燈  
文化2年(1805)のもの。片山神社参道入口にある。



9 名号碑  
宝永7年(1710)建立。自然石に「南無阿弥陀仏」と刻まれている。街道側の林の中。道路の側の小川を越える所は琴の橋と呼ばれる。

国道1号  
下り車線の横に側道がある

家並みに  
そった細い旧道がある

この部分は  
52ページを  
ご覧ください



1 素晴らしい集落の景観



2 金蔵院の高い石垣  
明治初年に廃寺になった。家康や家光が小休止したといわれる。



3 地藏堂  
石垣の下。人の身代わりになってくれるということから、身代わり地藏と呼ばれる。



6 岩屋観音  
万治年間(1658~61)、法安寺の実参和尚が旅人の道中安全を祈って造立したもの。亀山市指定名勝。高さ18mの巨岩の岩窟に弥陀・観音・勢至の三体の石仏を安置。



21 無名の地藏  
街道左側。このあたりには、山崎屋、井筒屋、堺屋、伊勢屋などの6軒の茶屋があった。地藏が立っているのは鉄屋跡。



20 田村神社跡の石柱  
杉木立の中に立つ。



13 燈籠坂  
かつては一定の間隔で常夜燈が立っていた。石畳は昭和初期に敷かれたものと言われる。



12 常夜燈4基  
昔は、燈籠坂の両側に並んでいた。延享元年(1744)、文化11年(1814)、享保2年(1717)、安政6年(1859)のもの。向かって左端の1基は上部が破損している。



11 御馬屋



22 六体地藏  
街道右側。茶畑と杉林の間の道を右へ10mほど入った杉木立の中。



18 馬の水のみ鉢



23 墓石群  
六体地藏の近く。安政など江戸時代の年号が刻まれている。



19 鈴鹿山の鏡岩  
硯岩でかつては表面が鏡のように輝いていたという。鬼の姿見といわれる。県指定天然記念物。



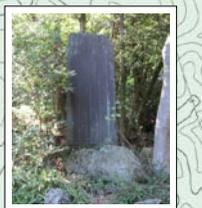
17 松尾芭蕉句碑



16 標石  
国道1号を越えた広場にある。県建立のもの。「天然記念物 鈴鹿山の鏡肌」と刻まれている。



14 片山神社



15 孝子万吉の碑



7 鈴鹿山麓の景観  
鈴鹿山脈は三重県側が険しく、滋賀県側はなだらかなっている。天候の変化も激しく、鈴鹿馬子唄に「坂は照る照る鈴鹿はくもるあいの土山雨が降る。」と歌われた。



4 如来堂橋  
別名上の橋。このあたりが宿の端だった。



5 櫛屋の地藏  
三体の石地藏。古町に祀られていたが、明治維新後古町から移された。民家が移転する際、夢のお告げで「わしも一緒に連れていってくれ。」と言ったという。



8 琴の橋(桐の橋)

- 地図内凡例
- 道標など
  - 常夜灯
  - 神社・仏閣・城址など
  - 地藏など
  - 句碑
  - その他文化資産等
  - まちかど博物館
  - 博物館・資料館
  - まちがえやすい分かれ道
  - バス停
  - トイレ

このウォーキングマップは、三重県の街道を訪れる人や、地域に暮らす人誰もが街道や周辺の文化資産等に興味を持ち、触れることができるように作成しました。

場所によっては旧街道のルート自体が道で無くなっていたり、現在は通行できない箇所もあります。

その場合は迂回路等をご案内しており、史実に沿わない部分もありますが、あくまで旧街道を基本に周辺に残る文化や、新しく発展した文化などをご紹介します、散策を目的にご利用いただくものとご理解ください。

地図上のマークの位置は目安で、実際の位置と若干異なる場合があります、隣接する資産等はを並べて表示している場合がありますので、ご注意ください。

また、マップに掲載されている「まちかど博物館」や「博物館・資料館等」につきましては、開館日や開館時間等が決められており、予約が必要な場合もありますので、事前にご確認・ご連絡の上、訪問していただきますようお願いいたします。

なお、お気づきの点等がありましたら、ご指摘等いただければ幸いです。

みえの歴史街道の詳細情報やまちかど博物館、博物館・資料館の連絡先や概要、句碑の詳細情報などは下記ホームページからご覧いただけます。

「三重の文化」ホームページ

<http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/>

- 掲載されている文化資産やまちかど博物館等の情報は平成24年2月時点のものです。
- この地図は三重県自治会館組合管理者の承認を得て、同組合所管の「2006三重県共有デジタル地図(数値地形図縮図10,000)」を使用し、調整したものです。(承認番号:三自治地第195号)本成果を複製あるいは使用して地図を調整する場合は、同組合の承認を必要とします。
- バス停・トイレの情報は「平成22年度生活密着型地理空間情報整備緊急雇用創出事業」で、平成22年10月から23年1月にかけて調査したものです。



## みえ歴史街道

### ～みえ歴史街道構想～

三重の「街道」の持つ魅力を、  
観光資源としてだけでなく、  
豊かでうるおいのある生活や  
文化を創造していく資源として活かし、

- 1 住む人、訪れる人の両方が  
満足できるような地域づくり
- 2 未来へ向けて様々な  
新しい交流が生まれる地域づくり
- 3 各地域の個性を磨きながら、  
広域的に一体感のある地域づくり

を目指す三重県の構想。

( お問い合わせ先 )

〒514-8570 三重県津市広明町13番地  
三重県環境生活部文化振興課

電話：059-224-2233 e-mail:bunka@pref.mie.jp